

わかりやすいフッ素の 応用とひろめかた

— 21世紀の健康づくりとむし歯予防 —

編集 福岡歯科大学名誉教授 境 脩 日本大学松戸歯学部教授 小林 清吾
新潟大学医歯学総合病院講師 佐久間汐子 東北大学病院講師 田浦 勝彦
新潟大学医歯学総合研究科助教授 八木 稔

B5判 2色刷 128頁 定価 2,940円 (本体2,800円+税) ISBN978-4-7624-0649-2

むし歯予防を公衆衛生の場ですめるにあたり、かかわりをもつ園・学校、地域にフッ化物を応用した活動を取り入れたいと考えたことはありませんか？フッ化物についての正しい知識を提供し、フッ化物応用を効果的にすすめるためのヘルスプロモーションなどについて解説！



主要目次

Chapter 1 日本人の歯の健康度と公衆衛生的フッ化物利用

- A 生涯にわたる歯と口の健康づくり
- B むし歯の状況
- C 歯を失わないために
- D 公衆衛生的フッ化物利用の現状
- E 21世紀における国民健康づくり運動「健康日本21」とフッ化物利用

Chapter 2 フッ素とはなにか

- A 自然界とフッ素
- B フッ化物と生物の進化
- C 栄養・ミネラルとしてのフッ素
- D フッ化物摂取と健康
- E フロリデーション
- F 世界におけるフッ化物の応用
- G フッ化物応用に対する日本の見解

Chapter 3 むし歯予防を公衆衛生の場で進める意義

- A 公衆衛生の基本的考え方

- B むし歯は歯周病と並ぶ大きな社会的問題
- C 学校でフッ化物洗口を実施することの意義
- D 口腔保健における不平等を是正し、健康の公正を実現する
- E 市民と歯科医師の両者が得をする社会 both win
- F むし歯予防を公衆衛生の場で進める意義は「上流へ向かえ going upstream」にあり
- G ヘルスプロモーション：社会的支援活動（解決のプロセス）
- H 公衆衛生を進める力

Chapter 4 フッ化物の応用とひろめかた

スクールベースのフッ化物洗口、各地のフッ化物洗口の事例 ほか

Q & A

- A 基礎知識
- B 安全性
- C 意見
- D その他

参考資料

内容見本

